

第1回飯田市社会福祉審議会児童福祉分科会（飯田市版子ども・子育て会議）
第1回飯田市次世代育成支援対策地域協議会 議事録

日時 令和7年6月23日（月）18:00～20:10

会場 橋南公民館 第1・2会議室

出席者（委員）：原委員、宮澤委員、岩橋委員、松澤委員、松村委員、田中委員、多田委員、田中委員、渋谷委員、黒河内委員、戸崎委員、小池委員、西村委員、壬生委員、下平委員、永井委員、村松委員、光沢委員、藤岡委員、塩沢委員

（事務局）：山崎こども未来健康部長、筒井こども課長、塩澤保育家庭課長、宮嶋保健課長、福沢福社課長、伊藤学校教育課長、高山こども課長補佐兼子育て支援係長、片桐こども課長補佐兼こども相談係長、北沢こども課発達支援係長、三石こども発達センターひまわり所長、久保田こども課こども相談担当専門技査、牛山保育家庭課長補佐兼施設管理係長、飯島保育家庭課長補佐兼家庭相談係長、齊藤保育家庭課保育係長、矢澤保健課長補佐兼保健指導係長、福澤保健課長補佐兼母子保健係長、木下学校教育課児童クラブ係長

（司会）：高山こども課長補佐兼子育て支援係長

1 開会

2 任命書交付

各委員への任命書交付。任期は、本年4月1日から3年間、任期中に委員推薦の母体となる団体の役職等を退いた場合は、後任の任期は残任期間となる。

3 こども未来健康部長あいさつ

こんばんは。こども未来健康部の山崎でございます。本日は公私ともにお忙しい中、また少し遅い時間帯での開催になりましたが、多くの方にご出席いただきましてありがとうございます。

委員の改選後、初めての委員会になります。ただ今、任命書をお渡しさせていただきましたが、3年間お世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度は、飯田市こども若者まんなかプランの策定、また、いいだ未来デザイン 2028 の後期計画の策定などもありまして、委員会を開催する回数も多くありました。そんな中でご協議をいただき、計画をまとめ上げてまいりました。

日本全体における少子化の進行、人口減少に歯止めがかかっていない状況の中、国においても少子化対策の具体的な中身となるこども未来戦略の方針が示されております。飯田市においても年々出生数が減少して、待ったなしの状況にあるということは、皆さんもご存知のことだと思います。そんな中でこどもまんなか社会の実現に向けて、若者や子育て世代等に意見をしっかりと聞き、また小中学生にアンケート調査などを実施し、計画に反映をしてまいりました。こども若者の意見聴取につきましては、引き続き今年度からもしっかりと聞く機会を設けまして、皆さんの意見も聞いて、皆さんの願いが叶う飯田市にしてまいりたいと考えております。

この児童福祉分科会におきましても、今回の委員改選から高校生の方お2人と、短大生の方お1人に公募として、若者の参画をいただいております。ぜひ、皆さんの当事者の意見を頂戴できればと思いま

すので、よろしくお願ひします。また、3人の皆さんに参加しやすいこの時間帯での開催も今後続いてまいりますので、委員の皆様にもご協力をいただければと思います。

さて、本日は、昨年の実績報告、またこども誰でも通園制度の認可などについてご協議をいただきます。委員の皆さんの忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますし、また特に若いお三方の意見が出しやすい雰囲気作りも皆さんにご協力をいただければと思います。

本日遅い時間からの開催になりましたが、どうぞよろしくお願ひいたします。

4 会議にかかる概要と確認

(1) 飯田市社会福祉審議会条例の確認

ア 会議等の公開について

イ 審議会委員個人の情報公開について

(高山こども課長補佐兼子育て支援係長より説明)

(2) 委員自己紹介

(3) 事務局自己紹介

5 正副会長及び本部会委員の選出

事務局に一任するとの意見があり、委員の総意となった。事務局より下記の通り腹案が提出され、承認された。各分科会から選出する本部会委員は、従来どおり正・副会長の3名が承認された。

会長 原 久 委員（飯田市社会福祉協議会）

副会長 宮澤 徹成 委員（飯田市保育協会・風越こども未来園園長）

副会長 小池とし子 委員（飯田市ひとり親家庭福祉会）

6 会長・副会長あいさつ

(1) 原会長あいさつ

改めまして、皆さんこんばんは。当委員会の会長ということで、ご指名をいただきました原久と申します。先ほど申しましたように、私は社会福祉協議会副会長をしておりまして、その関係でこの審議会に派遣されております。

先ほどご紹介にもありました、昨年度まで委員会の会長をさせていただいておりました。そしてまた新しい委員会の会長ということで、3年間務めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

私、本当にびっくりしたのですが、22名中15名が新しいメンバーで、どちらかというと堅い審議会に、短大生や高校生の皆さんにこうやって参加していただけるというのは、本当に良いことだと思います。先ほどの部長さんのお話にもありました、そういった当事者の皆さんのが気軽に発言できるよう、私としても進めていきたいと思いますので、ご協力をお願ひいたします。

(2) 宮澤副会長あいさつ

お世話になります、宮澤です。保育協会の私立保育園の代表ですが、昨年度代表の飯田中央保育園の塩澤先生が副会長を務めたということで、副会長を仰せつかりました。よろしくお願ひいたします。

(3) 小池副会長あいさつ

飯田市ひとり親家庭福祉会の会長させていただいております。力がありませんが、副会長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

7 協議事項

(1) 令和6年度第二期子育て応援プランの実施状況及び評価について

(高山こども課長補佐兼子育て支援係長より資料No.1-1~3の説明)

意見質問事項

A委員	昨年度までの計画の自己評価をやっているわけですが、数値は落ちています。今までは子育て支援が中心の計画でやってきましたが、数値は減ってしまっています。国はこども家庭庁という新しい組織を発足したわけですし、これからは、こども・若者のための新しい計画を実行していく必要があると思います。
B委員	会長がおっしゃったように合計特殊出生率が1.53と下がっていますが、これは飯田市に限らず日本全国どこも同じで、もっと下がっているところもあります。未満児保育の需要は増えており、園としては受け入れたいが、保育士の確保ができず受け入れができない場合があります。国はこども誰でも通園制度などのいろいろな政策を行っていますが、現場がついて行けないところがあるというのが感想です。
C委員	資料No.1-2 令和6年度第二期子育て応援プランの実施状況一覧の7ページにある青少年育成事業の当年度評価がCとなっていますが、どういう評価ですか。新任の公民館長として見ると、内容的にいろいろとやっているように見えるのですが、これよりもっと一生懸命やりなさいという叱咤激励の評価ということでおろしいですか。
事務局	本日、担当部局の職員が来ておりませんので、改めて確認し、後日回答させていただきたいと思います。ご了承ください。 【後日確認後、表記誤りであったため、事務局で「B」へ修正。(R7.6.24)】
事務局	令和6年度の評価結果のまとめについて、「令和6年度第二期子育て応援プランの実施状況及び評価については、全体として良好又は概ね良好に実施したと評価する。ただし、少子化や人口減少が依然として進行していることから、こども・若者・子育て世代が『ここで育って、ここで育ててよかったと感じられるまちづくり』を、継続して推進されたい。」としてよろしいでしょうか。ご確認をお願いします。
委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。これをもって分科会の評価とさせていただきます。

(2) 令和6年度飯田市こども家庭センターの相談等対応状況について

(片桐こども課長補佐兼こども相談係長より資料No.2の説明)

意見質問事項

A委員	こども家庭センターとは何かを、説明していただけますか。
事務局	母子保健機能と児童福祉機能双方の機能の一体的な運営を通じて、継続した支援をしていく機関です。 妊産婦や乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援、こどもと子育て家庭の福祉に関する包括的な支援を、切れ目なく、漏れなく提供することが一番求められています。 また、個々の家庭の課題・ニーズに応えるために、今後どのように考えていったらいいかというプランを保護者と一緒に作っていくことが重要とされています。

D委員	<p>保育の現場としては、未満児の入所が増えている中で、今までの経緯などを知つてみると、子どもや保護者に対してどのような支援をしたらいいかがすごく分かりやすいです。</p> <p>実際に、配慮が必要なお子さんが保育園に入所する際に、保護者やそこに関わった保健師さん等が一緒に話をする場を持つことができて、情報共有などができる大変良かったと思います。</p> <p>保育園としては、今後もしっかりと情報をいただきたいですし、継続してやっていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>虐待関係に限らず、急な入所を必要とする家庭も実際にあります。本当に小さい時期から保育園の入所を受けていただき感謝しております。</p> <p>今後も、密に連携をさせていただけると大変ありがとうございます。</p>
E委員	<p>飯田市では虐待件数が減少傾向ということですが、全国的には右肩上がりで、県では高止まりしています。家庭の立場で考えると、虐待相談をどこにすればいいか迷うケースがあると思います。児童相談所は少し敷居が高いと感じる方が多いと思います。令和6年度の43件の中には警察が担うケースもあると思いますが、虐待相談をする際に、飯田市に相談してもいいんだということがもっと浸透するといいと思います。</p> <p>虐待種別を見ると、全国の児童相談所の集計では心理的虐待が多いですが、飯田市は心理的虐待よりも身体虐待が多いのが不思議に感じました。</p> <p>施設の立場からすると、子育て短期支援の委託料について、県にも要望していますが、システムを使いやすいように少し変えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>飯田市の虐待相談は減少傾向ですが、それまでにどれだけ予防してきたかによって、虐待の減少が考えられます。子ども家庭センターで妊娠期から少し心配な方をずっとフォローしていくと、虐待まで進行しないで困ったなという子育て相談で終わる場合もあり、きちんと予防していくことがすごく大事かなと思います。</p> <p>中には頑張っているのですがどうしてもお家で見きれない方もいて、それが必ずしも虐待や施設措置につながるのではなく、お子さんを少し預けて家族が休息できれば、何とかまた次やっていけるという方もいます。そういう場合、短期支援事業を使っていただいて、虐待にならないよう何とか家庭で過ごせている状況もあります。ご協力をいただいておりまして大変ありがとうございます。</p>

(3) 乳児等通園支援事業の認可について

(齊藤保育家庭課保育係長より資料No.3-1～2の説明)

意見質問事項

A委員	保護者の要件がない場合でも保育園等に預けることができる、まさに新しい子育て支援策ということですね。
C委員	令和6年度に試行的事業を実施したわけですね。そのときの需要と供給のバランスなどのデータはありますか。
事務局	昨年度の6月から3月の状況ですが、日数だと0歳児が106日、1歳児が112日でした。時間数だと0歳児が307時間、1歳児が276時間、2歳児は17時間でした。

	1人当たりで見ると、月最大の10時間使う方もいましたが、4～5時間の方もおり、1月当たり大体15名の利用がありました。 利用登録については、昨年度59名の登録があり、その中で29名の方が繰り返しご利用いただいたという状況です。
A委員	保護者がどういう状態のときに使うのでしょうか。
事務局	親がちょっと体を休めたいときや、下の子が生まれて上の子と遊んであげたいけれど下の子も見なければならないときなど、同じくらいの年齢の子と遊べる環境に預けたいということで利用されているかと思います。
A委員	保育園に入っていない方が利用されているということですね。
事務局	そうです。

8 報告等

- (1) 飯田市こども若者まんなかプランの概要について
 (2) 令和6年度こども・若者の意識と生活に関する調査結果について
 (高山こども課長補佐佐兼子育て支援係長より説明)

意見質問事項

A委員	昨年度、実はだいぶ苦労してこの計画を作ったのですが、かなりいいものができたと個人的に思っています。 みんなが理解し、全市民が当事者になり実行することが大切だと思います。
-----	---

(3) その他

事務局	前回の分科会のときに、児童福祉分科会の取り組みが、これからは児童福祉の枠を超えてこども・若者が真ん中の視点で議論がなされるべきだということから、分科会の名称を児童福祉分科会ではなくて、もう少しこども・若者というのをテーマにした名称にしてもいいのではないかというご発言がありました。 これについて、次回の分科会の中で一つの協議項目としてご意見を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。
A委員	確かにそうですね。名称自体マッチしていないかもしれませんね。
事務局	前年度からの引き継ぎということで、新しいメンバーで検討していただきたいと思います。条例に関わる事項ですので、次回しっかり時間をとって、慎重なご議論、ご審議をお願いしたいと思います。
事務局	次回の日程についてですが、今年度3回の開催を予定しております、今日が終わりますとあと2回となります。今までと、次回は秋頃に開催しております、今年度の中間報告などを申し上げ、委員の皆さまから計画の進捗に関してのご意見をいただくことを中心に考えております。 今年度から学生の皆さんがあなたになっておられるという中で、できれば長期休みのときなどを活かせるといいなと思いますが、短大と高校の年間計画表を事務局から頂戴して二つ合わせて見たのですが、すごく難しい状況です。本日ご提示できなくて申し訳ありませんが、改めて休校日等を踏まえつつ、両校の先生方、分科会長さんと相談をして、夏の終わりから秋口にかけて開催できるように調整をし、ご通知したいと思います。よろしくお願ひします。

9 こども課長あいさつ

時間を超過してしまいました、申し訳ございませんでした。

1回目ということで、お願ひすることがたくさんありましたが、ご協力いただきまして本当にありがとうございます。

これまででも、こどもや若者の意見を聞いてこなかったわけではないのですが、これからはもっとお聞きして、施策や事業をやることに対して反映していけるようにしていきたいと思っております。

様々な立場やお仕事などいろいろな方がいらっしゃると思いますので、そこで議論をしていただいて、より良くしていくためにはどうしていったらいいのだろうということを皆さんにお話していただく場になればと、私は願っております。

先ほどご案内した計画ですが、非常に分厚いですが、76 ページ以降に 3 つの視点、10 の施策があり、それぞれ何をやっていくんだということが書かれています。人の生活は多岐にわたっており、様々な分野でいろんなことが絡み合って生活が成り立っていると思いますので、それぞれの視点でお話を聞かせていただいて、先ほど会長さんからもありましたけれども、この計画は、この地域をより良くしていくための計画であると思っております。引き続き、説明も丁寧にして、お話をしていただきやすいような環境に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

本日はありがとうございました。

10 次回開催予定

日時：令和 7 年秋頃予定

11 閉会